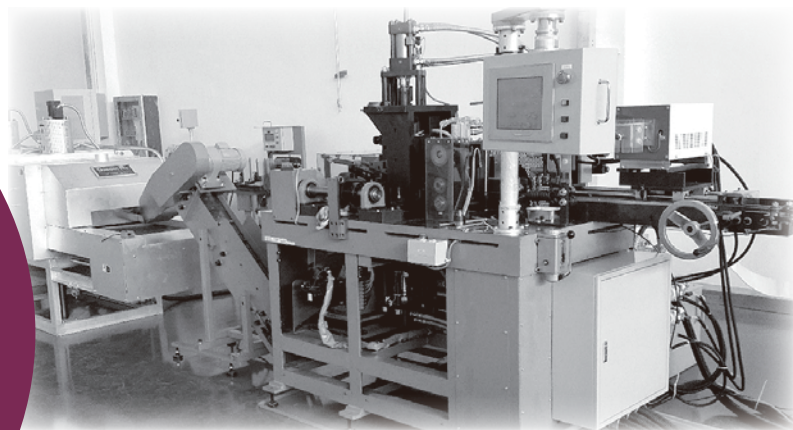


町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.19 ～

「株式会社 木村機械製作所」

町内には、優れた技術を持った会社が多く
存在します。事業所の持つ技術や
魅力を町長自ら訪問して、目で見て、
お話を伺い、住民に情報発信する
「事業所訪問」を
連載します。



リクライナー用渦巻きバネ専用機(特許取得)

のいく機材がない中、知恵を絞って直さなければ戦えない。それには工夫していかなければならなかった』という先代の第二次世界大戦時の体験と教えが“軸”となり、この小鹿野の土地の社員と共に勉強しながら技術やノウハウが受け継がれていき、さらに現在の社員へと繋がっていると語るお二人の言葉に熱い思いを感じました。信頼と実績、誠実な仕事への姿勢が親子三代に亘って歴史を支えてきた証であると強く思う企業でした。

わが社の主力製品

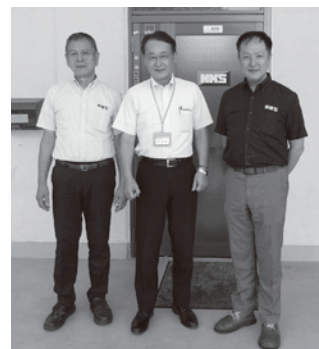
当社の渦巻きばね製品は輸出向け70%(ヨーロッパ50%、東南アジア20%)、国内向け30%を出荷しており、そのうち大手自動車メーカーは72%を占めております。渦巻きばねの加工機と加工する工法は1981年及び200



主力製品の渦巻きばね

ここに自信あり

渦巻きばねの機械装置は自社で開発しているため、品質管理、検査における、全品検査において、渦巻きばね製



木村社長(左)と木村副社長(右)

品の“クレームゼロ”という実績が大手自動車メーカーからの信頼を受け、多数注文を受けております。全品検査は±5%というほぼバラツキのない数値で同業他社には出来ない管理のもと、安心安全、良質なものを提供しております。

会社概要

代 表 者 代表取締役社長 木村誠司

従業員数 8名

創 業 1957年

所 在 地 本社:川口市中青木4-3-23

秩父事業所:小鹿野町下小鹿野3330

電 話 0494-75-1110

町長の見て・聞いて・話して

第19回の事業所訪問は、8月6日に株式会社木村機械製作所を訪問し、木村誠司社長と木村昭彦副社長にお話を伺いました。

株式会社木村機械製作所は、昭和32年(1957年)に川口市で機械メーカーとして創立し、昭和48年(1973年)に現所在地に秩父・小鹿野工場を建設されました。

1960年から1990年代までは、コイリングマシン、フォーミングマシンの設計、製造、販売を主力とされていましたが、2002年に業態転換に着手し、機械メーカーから渦巻きばね製造へと転換され、大きな販売成果を得られたそうです。

渦巻きばねは主に自動車の座席シートや映画館、スタジアム等の背もたれの可動域を維持する部分にあたるため、安全安心への配慮が欠かせない製品とのことでした。

自動化にシステム整備された工場内では、ベテランと若手の共同作業のもと、1日2万個もの渦巻きばねが生産されています。

自社開発の機械で製造、全品検査の一貫体制の強いポリシーのもと、他社との差をつける努力を惜しまない姿勢が、同社の強みとなっているように感じました。

『小型戦車のメンテナンスをしていたが、手元には満足

▶ばね加工機の説明を受ける森町長

